

事業概要 【粗大ごみ戸別収集申請受付オンライン化事業】

事業タイプ・ 類型	デジタル実装タイプ型（TYPE1）	
事業内容	現行の電話受付のみで使用している粗大ごみ戸別収集申請受付システムを市民がパソコンやスマートフォンで24時間粗大ごみ収集の申し込みができるようオンライン化し、「電話がつながりにくい」「電話受付の時間は仕事等で手続きできない」といった現況を改善し、市民の利便性向上を図ろうとするもの。	
支援 対象者	和歌山市民	
事業経費	【事業費】 4,654千円 【経費内訳】 機械等保守委託料…2,772,000円、機械等借上料…1,390,400円 通信運搬費…491,438円	
実施体制	【事業推進主体】和歌山市 収集センター 【委託先】 株式会社両備システムズ（機械等保守業務委託先） 未定（機械等借上分） NTTコミュニケーション株式会社・西日本電信電話株式会社（通信運搬分）	

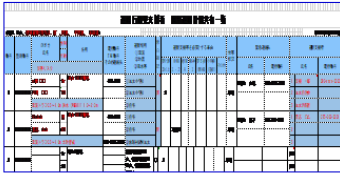
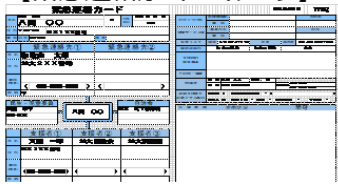
事業概要 【衛星画像解析に基づく漏水検知業務】

事業タイプ・ 類型	デジタル実装型（TYPE1Plus）	
事業内容	【衛星画像解析による広域漏水検知(ASTERRA)】 ✓ 衛星からLバンドマイクロ波を発信し撮影される画像を解析、土壌と混ざった上水特有の反射特性を検出、半径100m 範囲で漏水疑い箇所を特定。 ✓ 解析にあたり、当市全体を約 3 ヶ月で解析、これまで全域調査を行っていた漏水調査範囲を従来の約10-20%程度に絞り込むことが可能。 【漏水調査支援アプリの導入】 ✓ アプリにより前述の各漏水疑いエリアにおける漏水調査や修繕記録を一括でデジタル管理、集計可能。 ✓ ASTERRA及び漏水調査により得られた集計データを管路更新耐震化等の優先順位付け等にも活用が可能。	宇宙から地下の漏水が“見える”しくみ  出典：東亜グラウト工業株式会社公式HP
支援 対象者	和歌山市民	
事業経費	【事業費】 61,314千円 【経費内訳】 衛星画像解析に基づく漏水検知業務委託料…61,314千円	
実施体制	【事業推進主体】和歌山市企業局維持管理課 【委託先】 未定（5月末頃決定予定）	

事業概要【保護者連絡ツールの導入】

事業タイプ・ 類型	デジタル実装型（TYPE1）	
事業内容	【保護者連絡ツールの導入】 保護者からの欠席等連絡機能及び学校園及び教育委員会から保護者スマートフォンへのデジタル一斉配信機能を有するツールを導入・活用することで、学校園・家庭・地域の連携不足を解消し、きめ細やかな指導につなげ教育力向上を図るとともに、教職員及び保護者双方の負担低減に繋げる。	The diagram illustrates the communication flow using a digital tool. It features three main entities: '学校' (School) represented by a building icon, '教委' (Education Committee) represented by a group of people icon, and '保護者' (Guardian) represented by a person with a book icon. Arrows indicate the direction of communication: a double-headed arrow between '学校' and '保護者' is labeled '欠席連絡' (Absence Contact); a single arrow from '学校' to '保護者' is labeled 'お知らせ配信' (Notice Distribution); and a single arrow from '教委' to '保護者' is also labeled 'お知らせ配信' (Notice Distribution).
支援 対象者	保護者、教職員及び教育委員会事務局職員	
事業経費	【事業費】 2,139千円 【経費内訳】 システム使用料…2,139千円	
実施体制	【事業推進主体】和歌山市教育研究所 【委託先】 未定（6月頃決定予定）	

事業概要【避難行動要支援者システム整備事業】

事業タイプ・ 類型	デジタル実装型（TYPE1）	
事業内容	【避難行動要支援者システムの整備】 1 個別避難計画の作成状況をシステムで一元管理 2 個別避難計画の作成過程で聴取した内容をシステムで一元管理 3 個別避難計画の作成状況が掲載された自治会や民生委員ごとの名簿を出力し、提供 4 避難行動要支援者及び避難支援等関係者に対して、個別避難計画の情報を基に避難先や支援者等の状況を記載した緊急連絡カードの出力、提供 5 緊急連絡カードの「見える化」 ↓ 平時に避難行動要支援者及び避難支援等関係者双方が作成状況を常に把握し、訪問による顔の見える関係性の構築や地域の防災訓練等で活用をすることで、災害時における避難の実効性の確保を図る。	【個別避難計画名簿のイメージ】  【緊急連絡カードのイメージ】  <pre>graph TD A[避難行動要支援者] -- "①個別避難計画 作成の同意" --> B[市役所] B -- "②支援の協力依頼" --> C[地域の避難支援等関係者] C -- "③支援の引受け" --> D[地域の防災訓練に参加] B --- E[名簿管理 計画の作成]</pre>
支援 対象者	避難行動要支援者及び避難支援等関係者（自主防災組織、民生委員、消防団）	
事業経費	【事業費】 16,567千円 【経費内訳】 SE委託料…16,511千円 機械等保守委託料…56千円（3か月分）	
実施体制	【事業推進主体】和歌山市高齢者・地域福祉課 【委託先】 未定（6月頃決定予定）	